

ぶろしよつぷつうしん

ヒートショックにご用心

今シーズンは暖冬と言われていますが、急に雪が降ったり大寒波が押し寄せてきたりと、冬らしくなってきました。自分も急いでスタッドレスタイヤに交換をしました。

さて、最近ニュースなどで「ヒートショック」という言葉を耳にすることがあるかと思いますが。これは、温度の急激な変化で血圧が上下に大きく変動することなどが原因で、失神や心筋梗塞、不整脈、脳梗塞を起こすというものです。代表格が冬場の入浴です。寒い脱衣所から暖かい浴室や湯船への移動により、ヒートショックを起こす可能性があります。



ボールもデリケートであるように、ボウリングのボールもデリケートな存在です。夏場、高温になる車内などにボールを置いたままにしておいて割れてしまったという話を聞いたことがある方は多いかもしれません。(もし知らなかったという方は・・・夏場要注意ですよ！)

実は冬場でも割れる危険性があります。経年劣化などで割れる可能性もありますが、気をつけなければならぬのが温度変化です。ボウリングのボールは急激な温度変化に弱く、ボールが割れてしまう原因にもなります。寒いところと暖かいところの往復は、思った以上にボールに負担がかかります。さらにこの時期に注意が必要なのがオイル抜

きです。オイル抜きをしようとして、冷たくなったボールを急にお湯に入れたり、お湯から出したボールに冷たいクリーナーを吹きかけたりすることで割れることもあります。夏場は気にする方は多いのですが、冬場も気をつけてあげなければなりません。

新商品情報

一つ目はDV8「バンダル・ソリッド」です。発売即完売となったバンダルシリーズの第二弾となります。話題となったコンポジットカバーストックのソリッド版を採用し、オイルコーンディションに特化したボールとなっております。



二つ目はロトグリップ社「アライアンス・ブラッド」です。久々のアライアンスシリーズとなりますが、大きなバツクエンドと入射角が特徴のシリーズです。今回はカバーストックにアーマーエクス トリームパールを使用し、走りときれを一段と演出してくれているボールとなっております。

〈ドリラーのひとりごと〉 第13話

テープ類 その1

今回からテープについて触れていきます。まずは、主にサムホールに使用するテープについてです。

サムに使用するテープとしては「インサートテープ」や「TAシリーズ」などがあります。用途としては主に二つあります。



まずは、大きさ調整です。人間の指は太くなったり細くなったり変化をします。特にこの時期は寒さにより細くなることがあります。その際にテープをサムホールに貼ることで緩さを解消します。逆に太くなった場合は剥がすことでサムホールの大きさを調整し、常に同じような感覚を維持するようにします。

もうひとつは滑り止めや滑りやすくするなど、親指の抜け方を調整するものです。例えば、投げるときに親指が滑りやすい方には滑り止めに特化したテープを貼ることで、親指の抜け方を安定させます。いろいろな種類のテープがありますので、詳しくは遠慮なくプロショップスタッフまで声をかけてください。

〈筆者〉



佐取賢プロ(44期)
JPBA/PBAプロレギュラー
JPBA B級インストラクター
JBC公認ドリラー